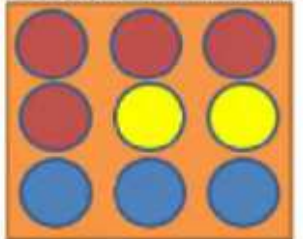


病床機能報告と地域医療構想の病床の違い

病床機能報告制度

・報告制度だと様々な病期の患者が混在しているのに一つの機能しか選べない

例) A病院の外科病棟



実際の病棟内には様々な病期の患者が混在している

- 高度急性期相当の患者(病床)
- 急性期相当の患者(病床)
- 回復期相当の患者(病床)



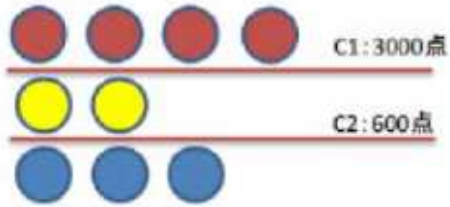
高度急性期病棟

病床機能報告制度では混在している中で一番数の多い、高度急性期病棟として報告している

↑この状態で報告される

地域医療構想の将来推計

・将来推計は患者数をベースに病床数を出している



2013年度の入院受療率
(患者数/人口)
(性・年齢階級別・4機能別)



2025年度の推計人口
(性・年齢階級別)



2025年度の必要病床数

